

市町村名	沖縄市
------	-----

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	沖縄こどもの国推進事業				新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ 多彩かつ質の高い観光の促進
担当部課名	企画部	プロジェクト推進室	事業実施年度	平成30 ~ 令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
 沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国への誘客に向け、各種ソフト施策を実施する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	A. 予算現額		50,442	18,150	14,432	30,000
B. 執行済額		50,413	18,112	14,355	28,600	111,480
	うち 交付金充当額	40,330	14,489	11,484	22,880	89,183
	執行率(%) (B/A)	99.9%	99.8%	99.5%	95.3%	98.6%
	執行状況の説明	事業計画どおりに執行した。				

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
沖縄こどもの国プロモーション業務の完了	目標			実施		
	実績			実施		
沖縄こどもの国商品開発等実施支援の実施	目標				実施	
	実績				実施	
沖縄こどもの国第2次ソフト関連	目標					実施
	実績					実施

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
沖縄こどもの国プロモーション業務の完了	目標			実施		
	実績			実施		
沖縄こどもの国商品開発等実施支援の実施	目標				実施	
	実績				実施	
沖縄こどもの国第2次ソフト関連	目標					実施
	実績					実施

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 目標/発現年度
入園者数	目標	60万人	60万人	65万人	70万人	75万人
	実績	53万人	33万人	36万人	53万人	59万人
	目標					
	実績					

事業完了後の成果目標 状況説明	<p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で入園者数は36万人となっており、目標を大きく下回る結果となっている。
	<p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標入園者数には及ばなかったが、過去最高入園者数に迫る53万人を記録した。
	<p>【R5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標入園者数には及ばなかったが、過去最高入園者数となる59万人を記録した。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響もあり、入園者数は伸び悩む結果となった。 <p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去最高入園者数に迫る53万人を記録した。 <p>【R5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去最高入園者数となる59万人を記録した。 ・成果目標未達成の要因としては、新規来園者数(県外・インパウンド)が少なかったこと、特にインパウンドについてはコロナ禍前の水準まで回復しつつあるものの、まだ完全ではなかったことが考えられる。 	<p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もコロナ禍での運営が予想されるため、それに合わせた戦略や環境整備を併せて検討し、沖縄こどもの国への誘客につながる施策の更なる充実を図る必要がある。 <p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍収束後の運営を見据え、それに合わせた戦略や環境整備を併せて検討し、更なる充実を図る。 <p>【R5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度より実施予定の夜間開園に向けた戦略や環境整備を併せて検討し、施設の更なる充実を図ることで、更なる誘客につなげる。
---	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度以降は、新たな取り組みである夜の開園に向け、施設の最大限活用を目的に、ナイトコンテンツ実施計画等について検討したうえで、沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画を作成し、これに基づいた各種ソフト事業を展開していく。 <p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度以降は、第2次ソフト計画に基づき、各種ソフト事業を展開していく。 <p>【R5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度より実施予定の夜間開園に向けた、各種ソフト事業を展開していく。
--

市町村名	沖縄市
------	-----

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	里道および水路の境界確定復元事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ	
						戦後処理問題の解決	
担当部課名	建設部	道路課 下水道課	事業実施 年度	平成	令和	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-8
	建設部			24	3		

事業内容 戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元測量を行う。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H24~H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	合計
	A. 予算現額		821,468	232,100	299,353	83,109
B. 執行済額		814,367	230,836	295,959	83,004	1,424,166
	うち 交付金充当額	651,489	184,668	236,767	66,403	1,139,327
	執行率(%) (B/A)	99.1%	99.5%	98.9%	99.9%	99.2%
	執行状況の説明	・R3年度は令和3年5月に発令された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の影響及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、隣接地権者及び周辺住民からの測量作業の自粛要請があり、測量作業期間の調整に不測の日数を要したため、翌年度に繰越した。				

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
里道の境界確定測量	目標	7,029m	10,500m	15,000m	22,000m	4,849m
	実績	7,185m	10,590m	15,224m	22,427m	4,849m
水路の境界確定測量	目標	3,000m	3,000m	3,038m	3,517m	-
	実績	3,001m	3,060m	2,814m	3,493m	-
	目標					
	実績					

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
確定測量の完了	目標	確定測量 の完了	確定測量 の完了	確定測量 の完了	確定測量 の完了	確定測量 の完了
	実績	確定測量 の完了	確定測量 の完了	確定測量 の完了	確定測量 の完了	確定測量 の完了
表示登記申請の完了	目標	表示登記 申請の完了	表示登記 申請の完了	表示登記 申請の完了	表示登記 申請の完了	表示登記 申請の完了
	実績	表示登記 申請の完了	表示登記 申請の完了	表示登記 申請の完了	表示登記 申請の完了	表示登記 申請の完了

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
			R4年度	R5年度 目標/発現年度		
道の機能が無く、誤信使用されている里道の売払い又は市道潰れ地との付替え	目標		10件	10件		
	実績		9件	8件		
水路の機能が無く、誤信使用されている水路の売払い	目標		2件	2件		
	実績		2件	1件		
状況説明	<p>【R5年度】 ・道の機能が無く、誤信使用されている里道の売払い又は市道潰れ地との付替え件数は8件となり、目標を下回っている。 ・水路の機能が無く、誤信使用されている水路の売払い件数は1件となっている。</p> <p>【R6年度】</p> <p>【R7年度】</p>					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R5年度】 ・里道の売払い又は市道潰れ地との付替え件数が下回っていることについて、現況の把握に課題があると思われる。 ・水路を誤信使用している者を特定することが困難な課題がある。</p> <p>【R6年度】 ・</p> <p>【R7年度】 ・</p>	<p>【R5年度】 ・筆界よりも詳細に誤信使用されている位置、面積を把握し、使用者等と交渉を行う。 ・誤信使用者の特定が困難な箇所については、近隣住民、自治会などに聞き取りを行い、使用者の特定に繋げる。</p> <p>【R6年度】 ・</p> <p>【R7年度】 ・</p>
---	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R5年度】 ・誤信使用の現況を把握するため、既存の測量成果を基に現場確認や使用者等から聞き取りをおこない、筆界よりも詳細に誤信使用されている位置、面積を整理し、台帳を更新する。その台帳を基に、使用者等と売払いの交渉を行う。</p> <p>【R6年度】 ・</p> <p>【R7年度】 ・</p>
